

平成29年度 予算に対する各会派の意見表明 (各会派からの原稿どおり) 掲載しています。

品川区議会自民党・子ども未来

品川区議会自民党・子ども未来は、平成29年度品川区一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算に賛成します。

平成29年度予算は、水辺資源を活かした事業の具体的推進、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成、町会・自治会活動支援、待機児童対策として1千44人の受け入れ枠拡大、私立認可保育園の開設準備補助、在宅子育て家庭支援、病児保育室の定員拡大、子ども食堂開設・運営補助、児童相談所移管準備、災害復旧特別会計の設置、高齢者生活支援体制整備、成人歯科健診充実、認知症対策

プロジェクト「くるみぶらん」、障害者支援、品川コミュニティスクールの展開など、我が会派が各種団体とのヒアリングや区民の皆さまからお聞きした声を集約し提案した多くの施策が予算化されたことを評価します。

区を取り巻く社会経済環境の変化は早く、複雑化しており、区民生活の向上を目指し、本委員会で我が会派委員が指摘・提案した、シティブロモーションの充実、介護人材確保と処遇改善、病児保育拡充、感染症対策、防災対策、いじめ防止力アップ、J.R.広町社宅跡地有効活用、更なる待機児童対策などを今後の施策に活かされることを要望します。

品川区議会公明党

品川区議会公明党は、平成29年度一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算について賛成します。

新年度予算は、区の新たな礎を築くため、まちなぎわい充実や子どもたちの健やかな成長支援、住み続けられる安全・安心のまちづくりの新たな3つの施策の方向性が示され、これまでに会派として提案・推進してきた、危険ながけ・擁壁の改修工事助成や防災資器材整備助成金の創設など、防災対策の強化が図られました。

また、認可外保育施設の保育料助成制度創設や子ども食堂開設支援、産後家事育児支援の拡充などの子育て支援、上天崎特別養護老人ホームの開設や支え愛・ほっとステーションの全区展開などの高齢者福祉の充実など、区議会公明党の提案・要望が数多く予算に反映されたことを評価いたします。

今後は、東京都の新たな施策に対して、必要に応じて補正予算を組むなどの積極的な対応を強く要望いたします。

学校や公衆トイレの洋式化、多子世帯への子育て支援の拡充、区道の無電柱化の促進、保育士や介護士への処遇改善、障がい児の放課後支援の充実など、会派の提案・要望を今後の施策に反映するよう求めます。

日本共産党品川区議団

一般会計、国保、後期高齢者医療、介護保険、災害復旧の各会計に反対します。●総予算は2千431億円。その特徴は、区民の命と暮らしを犠牲にする品川上空低空飛行計画を容認。住民を追い出し街を壊す巨大道路や超高層ビル再開発に巨額の税金を投入する一方、福祉切り捨ての予算です。◆「保育園に落ちた」子どもは1千164人。待機児童ゼロへ区立認可保育園の増設、保育士の処遇改善を。区立保育園民営化中止を◆障害児の放課後等デイの利用制限をやめること◆国保料は大幅値上げをやめ、新たな財源で値下げ実現を。最低生活費の差押さえをやめること◆介護保険はサービスの充実

を。事業者の経営安定、介護士の処遇改善のため総合事業の単価引き上げを◆後期高齢者医療の特例軽減の継続を◆統廃合や民間委託を進める公共施設総合計画は中止を◆林試の森隣の国・都有地に認可保育園や特養ホーム、障害者施設などの増設を◆新たに創設の災害復旧特別会計は議会のチェック機能弱める仕組みであり反対◆地域と学校との結びつきを弱める学校選択制は中止を◆濱野区長は毎年自衛隊激励会で挨拶。南スーダンでの自衛隊員の命の危険迫る中、直ちに撤退するよう国に求めること◆過去最高に積立された基金903億円は区民の切実な要望実現に使うよう求めました。

民進党・無所属クラブ

民進党・無所属クラブは、平成29年度一般会計予算、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算に賛成します。

平成29年度予算では濱野区長から未来志向な三つの施策の方向性が出され、その積極的な姿勢を評価します。防災対策では災害対策等の充実が示され、区民の生命や財産を守り迅速な救助、復旧の取り組みを評価します。熊本地震から得た新たな課題や教訓を今後の防災対策に反映し、より具体的で実効性に即したものと、区民のさらなる安全・安心なまちづくりに取り組むことを求めます。待機児童

対策では、過去最大数となる受け入れ枠の増加等、積極的な取り組みを評価します。今後も認可保育園の増設を柱に、ベビーシッターの活用等、様々な施策を展開し、待機児童の解消や、安心して子どもを産み育てられる環境づくりへ向け積極的な取り組みを求めます。東京2020大会の開催に向け、機運醸成やハード・ソフト両面での環境整備の充実を図ること、ネットいじめ対策、不登校対策のさらなる充実、オアシスルームや一時預かりでの、社会との関わりを持つ環境づくり等、我が会派が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受けとめ、予算執行することを強く要望します。

維新・無所属品川

維新・無所属品川は、平成29年度の品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各予算に賛成します。

不安定な中国とユーロ圏経済、消費が落ち込む日本経済、保護主義に向うアメリカ経済の中で、欧州・中東の政情不安も加わり世界経済は低迷しています。さて国の経済政策や日銀の金融政策は失敗に終り、景気は落ち込む一方、勤労者の大半は賃上げもなく、逆に円安による物価上昇に消費増税が加わり、区民と区内産業は厳しい負担を強いられています。なかでも年金所得だけの高齢者、非正規雇用者、子育て世帯、若者世代などの低所得者層は、家計負担が増え買い控えや節約に向かったため消費の落ち込みは深刻です。そして経営悪化が続く中小零細企業は、原材料の高騰や消費低迷により廃業や倒産は止まりません。

いま区内には年収300万円以下の低所得者層が約8割もいますので、100億円も予算が残るならその一部でも低所得者層の支援に使って頂きたい。そして大災害に備えた復旧対策、待機児童対策、医療・介護などの支援対策に重点を置き、さまざまな生活支援を拡充して頂きたい。また学校教員の長時間労働を減らし、8時間労働を超える分には残業手当を支給して頂きたい。

品川・生活者ネットワーク

2017年度一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算に賛成します。

若い世帯に区の魅力をアピールする一方で、保育園、保健師が不足するなど、政策上の整合性が読み取れません。人を呼び込むことと受入れ態勢の両方を見据えた予算執行を望みます。

障害者福祉計画見直しの年です。現行の計画でめざしてきた「障害者等の生活を地域全体で支えるシステム」がどの程度実現できたかの点検は、数値だけでなくサービスの質も含めて点検・評価することを望みます。

食の安全について、学校給食の放射能測定を評価します。今後も産地ではなく数値で選ぶ姿勢で継続することを要望します。原発事故から6年経った今も事故は収束していません。しかし、国と福島県は自主避難者への住宅支援を打ち切ります。品川区に避難している人々へ支援が継続できるよう、国・東電・福島県へ要望することを望みます。

羽田飛行ルート変更については、国の問題とせず、品川区として反対すべきと主張します。情報公開について、教育委員会の会議内容公開の拡充、議案や委員会資料のHP上の公開等、一歩前進したことを評価します。区民の区政への参加を促すためにも更なる情報公開を求めます。